

(様式第 1 号)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和 4 年度】

※ 1～6、9：施設所管課記入、7：指定管理者記入、8：指定管理者及び施設所管課記入

指定管理者名	社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会
施設所管課	民生部 高齢障がい福祉課

1. 施設名

施設名	大崎市古川保健福祉プラザ 老人福祉センター	施設の住所 電話番号	大崎市古川三日町二丁目 5 番 1 号 0 2 2 9 - 2 3 - 4 8 5 7
-----	--------------------------	---------------	--

2. 施設の概要

設置年月日	平成 10 年 3 月 20 日	設置条例等	大崎市古川保健福祉プラザ条例 大崎市古川保健福祉プラザ老人福祉センター 管理規則
設置目的	老人福祉法の規定に基づき、老人に関する各種の相談に応じるとともに、老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。		
施設の内容	老人福祉法に規定する老人福祉センター（A 型）		
利用料金	別紙のとおり		
開館日、閉館時間	月曜日から土曜日（国民の祝日に関する法律に定める休日及び 1 2 月 2 9 日から翌年 1 月 3 日までの日を除く） 午前 9 時 3 0 分から午後 4 時 3 0 分まで		

3. これまでの管理運営状況

期 間	管 理 携 帯	管理受託者又は指定管理者等
平成 18 年度～平成 22 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 1	社会福祉法人大崎市社会福祉協議会
平成 23 年度～平成 27 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 2	社会福祉法人大崎市社会福祉協議会
平成 28 年度～令和 2 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 3	社会福祉法人大崎市社会福祉協議会
令和 3 年度～令和 7 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 4	社会福祉法人大崎市社会福祉協議会

4. 現指定管理者の指定期間

指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日 （ 5 年 0 ヶ月）		
選定方法	2	1.公募（応募者数： 団体）	2.非公募

5. 指定管理料

令和 4 年度（ア）	令和 3 年度（イ）	（ア）－（イ）
17,858 千円	17,858 千円	0 千円

※（ア）は当該年度、（イ）は前年度とし、それぞれ決算額ベース

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

1. 生活相談及び健康相談に関する業務
2. 生業及び就労の指導に関する業務
3. 機能回復訓練に関する業務
4. 教養講座に関する業務
5. 老人クラブに対する援助に関する業務
6. ボランティアの育成及び円滑な活動のためのコーディネートに関する業務
7. その他、老人福祉センターの設置目的に達するために市長が必要と認める業務

7. 利用実績等

(1) 利用者数

(単位：人、件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
令和 3 年度	155	173	880	1,074	712	311	3,305
令和 4 年度	845	1151	1097	602	210	148	4,053

(単位：人、件)

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	総計
令和 3 年度	1,163	1,159	1,019	699	849	887	5,776	9,081
令和 4 年度	661	955	796	694	895	887	4,888	8,941
主な増減要因	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会情勢に影響されるように、利用者数の変動がみられる。また約 2 ヶ月間（8 月～9 月）BA・5 対策強化宣言期間につき休講になった為、昨年度より減少している。							

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度を記載すること。

(2) 利用料金収入

(単位：千円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
令和 3 年度	0	0	0.6	0	0	0	0.6
令和 4 年度	3.5	2.8	2.8	5.1	5.0	2.4	21.6

(単位：千円)

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	総計
令和 3 年度	3	0.3	0.5	5.7	1	2	12.5	13.1
令和 4 年度	2.4	1.8	2.7	1.5	2.1	2.4	12.9	34.5
主な増減要因	前項と同様、新型コロナウイルス感染拡大状況に影響されおり、貸館も少ない為今年度も減少している。 入浴施設については、引き続き休止としている為、従来の実績からは大きく実績が減少した。							

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度を記載すること。

(3) サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み

教養講座などの既存・新規の利用者、または、施設利用者等が安心・安全に施設を利用できるよう、特に新型コロナウイルスの感染拡大予防対策を徹底し、消毒用品や飛沫防止パネル、検温器、感染予防呼びかけの掲示物などを設置した。

これによって、各部屋の使用前、使用後の消毒やソーシャルディスタンスを確保しての利用が可能となり、快適に利用いただいている。

(4) 施設利用者の主な声やその対応状況

1. 利用者の声

新型コロナウイルスの影響で、従来どおりの利用はできなくなったが、利用者も情勢や自粛についての理解は広まっている為、不満の声は昨年度に比べ少なくなった。

入浴も引き続き中止となり、一部、「いつ再開するのか」の声はあったが、感染予防の対応が難しいことを丁寧に説明することで、理解が図られている。

消毒などの感染予防対策のことに 대해서는、利用者より安心安全に利用できるという声も聞かれた。

2. ご要望や改善へのご意見とその回答

・上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大の情勢を利用者も鑑みながら利用しており、不満というよりは予防対策について、協力的に行っていただいた。感染予防対策を十分に施すことで、施設利用が可能であることから、ウィズコロナ・新しい生活様式が定着していると感じられる。

(5) 施設の管理運営における課題

・施設開所から20年が経過し、電器機器類、水回り関係等の故障や不具合が多く発生するようになっている。継続的な事業運営の為にも修繕が必要であり、金銭的な面からも修繕が不可という場合は、部屋等が使用できないという状況や代替え場所の対応も考えなければいけない。

例) トイレ、一体型で総替えが必要な照明類、教養娯楽室のブラインドの損傷、空調設備

(6) 収益強化

・新型コロナウイルスの影響により、利用者が自主的に利用を控えるという傾向があるが、参加されている方々は、感染予防を図りながら、楽しんで参加いただいている。このような活動の様子を広報することに努め、新規利用者や既存の利用者の再開に努めていきたい。

・関係団体等とのネットワークを生かして、利用者の発掘、拡大を図り、地域のニーズについて協議検討し、実践する場として施設を最大限に活用して行きたい。

8. 管理運営状況

評 価 項 目	評 価 基 準	自己 評価	所管 評価
---------	---------	----------	----------

1 施設全般の管理運営に関する業務

(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	◎	◎
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
(3) 管理記録	各種の管理記録（業務日誌等）を適切に整備、保管している。	◎	◎
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	◎	◎
(5) 清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	○

2 利用者に関する業務

(1) 利用状況	事前計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	○	○
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	◎	◎
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取り組みを行っている。	○	○

3 事業の実施

(1) 指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	◎	◎
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	◎	◎

4 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の保護	協定書に基づき適切に個人情報を取り扱っている。	◎	◎
-------------	-------------------------	---	---

5 管理運営業務の収支等

(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収入である。	○	○
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取り組みを行っている。	◎	◎
(3) 経理事務	専用口座、諸帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	◎	◎

評 価		評 価 の 考 え 方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

※ 該当しない項目については、「－」を記入してください。

9. 施設所管課の総合評価

--	--

9. 施設所管課の総合評価

令和4年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切、良好に行われた。また、職員も施設の設置目的を十分理解したうえで施設運営にあたっている。

来館者に対しては、パンフレット等を活用した丁寧な説明や見やすい案内表示を心がける等サービスの向上に努めており、新型コロナウイルス対策として、消毒、飛沫防止対策を徹底して行い、利用者が安心安全に利用できる体制を整えている。また、広報誌、地元紙やWebページでのPRや館内掲示板で募集案内を行う等利用者の獲得につながる工夫が見受けられる。

施設利用者の要望についても、普段から積極的に利用者とのコミュニケーションを図り、要望の把握に努め、的確に対応している。

利用料金収入の実績については、前年対比263.3%となっており、昨年度と比較して増加はしたものの、入浴施設については、引き続き休止していることにより、従来の実績からは減少している。

施設管理については、建物の老朽化に伴い、より細やかな施設・設備の点検を確実に実施することで、修繕箇所の早期発見、早期修繕につながり、修繕費のコスト削減に寄与している。

指定管理料に係る収支については、経費の節減や利用料金収入の向上に取り組むなど、経営の健全化に努めている。

総合的に、当指定管理者は利用者本位の施設運営を行っており、利用者の心身の健康保持及び生活の安定に大きく貢献していると言える。

今後においても、老人福祉法の規定に基づき、地域の高齢者に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与願いたい。